

## 令和6年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会(男子)参加レポート

広島県ユース審判員 岡崎啓太郎

### 【大会概要】

・大会名:令和6年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会

・期日:(1)開会式 7月26日(金)

(2)競技 7月27日(土)~8月3日(土)

7月27日(土)1回戦

7月28日(日)2回戦

7月30日(火)3回戦

7月31日(水)準々決勝

8月2日(金)準決勝

8月3日(土)決勝

・会場:Jヴィレッジ

Jヴィレッジスタジアム

広野町サッカー場

住鉦エナジーマテリアル NARAHA ピッチ

ハワイアンズスタジアムいわき

アロハフィールド

### 【研修会】

大会前にオンライン研修会が2回行われました。また、ユース審判員のみでのオンライン研修会も1回行われました。大会概要や事務連絡、サッカー競技規則2024/25の規則改正の確認、主審と副審の協力についてのディスカッションなどが行われました。

26日には、Jヴィレッジ入りし、ユース審判員での研修会が行われました。信頼を勝ち取るために必要なことは何か話し合い、正確に判定することや積極的にコミュニケーションをとること、一生懸命頑張るひたむきさなどが必要だと感じました。東京都高体連の福島先生より今大会を通して失敗をすることがあってもそれを受けとめ、自分に対して新たな問いかけを見つけてほしいと話されました。

その後、フィールドに移動しユース審判員でのプラクティカルトレーニングが行われオフサイドトレーニングをしました。2人1組になり動画を撮って映像を確認しながら行いました。自分の視点を守備側競技者の背中に置くのか、かかると置くのかということを状況に応じて変えることで判断しやすくなることがわかりました。また、名木さんに直接視野と間接視野の使い分けをすることやラインキープのときに後ろに下がるステップを使うことを教えていただきました。

この日の夜に、zoomでの全体研修会が行われその中で1回戦の割り当てが発表されました。

全体研修会後にユース審判員で、交代ボードの作り方や表示の仕方の練習を行いました。

27日には、夜に zoom での全体研修会が行われ、1 回戦の振り返りと 2 回戦の割り当てが発表されました。

### 【担当試合】

#### 1 回戦 東山(京都) 1-0 高川学園(山口) @J ヴィレッジPI (第 4 審判)

- ・交代の手続きを問題なく行うことができた
- ・後半のアディショナルタイムの表示は交代のタイミングと重なりすることができなかったが、両ベンチに口頭で伝えることができた
- ・ベンチコントロールに行くタイミングが悪く、収めることができないことがあった→ベンチに付き合う時と付き合わない時の使い分けが大切

#### 2 回戦 帝京安積(福島①) 0-4 昌平(埼玉) @J ヴィレッジスタジアム (副審 2)

- ・難しい判定はほとんどなかった
- ・スプリントで遅れることはほとんどなかった
- ・際どいタッチジャッジの場面では主審と協力しながら正しく行えた
- ・副審サイドでファウルが起きた時、主審の笛と同時にフラッグアップできていないことがあった→プレーからファウルの可能性を感じ取ることが大切

### 【まとめ】

この度は全国高等学校総合体育大会に参加させていただきありがとうございました。

ユース審判員という立場でありながら、各地域で活躍される 2 級審判員の方々と全国高等学校総合体育大会の舞台で審判を行えたことは、たくさんの学びがあり、とても良い経験になりました。また、今大会はユース審判員としての派遣で、副審と第 4 審判のみの担当でしたが、各地域の 2 級審判員の方々のレフェリングを間近で見て、自分もこの舞台で主審を担当したいと強く思いました。今回の大会で得た経験を今後の審判活動に活かしていきたいと思います。

